

# ナノテクノロジー研究センター

## ナノテクノロジー研究センター(Nanotechnology Research Center)

ナノテクノロジー研究センターは、上智大学におけるナノテクノロジー研究の中心的な役割を担う組織として2008年4月に設置されました。現在、独立行政法人科学技術振興機構(JST)の戦略的創造研究推進事業(チーム型研究:CREST)の採択を受けたプロジェクトが中心となって活動しています。

このプロジェクトは、本研究センターが創成したナノコラムとナノ結晶を基礎にして窒化物半導体レーザの課題を克服し、緑色域半導体レーザ及び三原色発光デバイスの基盤技術の確立とナノ結晶による新物性現象の発現を探索し、学問的にナノ結晶効果を明らかにすることが大きな目的です。

信頼性が高く安価で大量生産に優れる半導体レーザは現在、青色域と赤色域では実用化されていますが、緑色域は依然として研究開発の段階にあります。光の三原色全ての半導体レーザが揃うことで、フルカラー産業分野は飛躍的な発展を遂げることから、緑色域半導体レーザ、三原色発光デバイスに関して大きな期待が寄せられています。

研究単位代表者:岸野克巳教授(理工学部機能創造理工学科)  
事務室:4号館393A室